

まんのう町高齢者福祉計画及び第9期介護保険事業計画策定委員会（第3回）議事録

開催日時：令和5年11月16日（木）13:30～13:55

会 場：まんのう町役場3階大会議室

出席委員：長森委員長、白川副委員長、白川（正）委員、大山（保）委員、大月委員、
三浦委員、長谷川委員、川口委員、山下委員、大西委員、三好委員

欠席委員：大山（康）委員、岩永委員、川原委員、栗田委員、真鍋委員、細原委員、
鈴木（正）委員、鈴木（平）委員、宮本委員、松本委員、黒木委員

事務局：池下、岡崎、庄、森西、真鍋、三崎、岡坂

コンサル：大西

■次第

1. 開会
2. 挨拶
3. 議事
 - （1）第9期介護保険事業計画について
 - （2）その他
4. 閉会

1. 開会

2. 挨拶

本日はご多忙の中、委員の皆様方におかれましては、お集まりいただきありがとうございます。また日頃よりまんのう町行政にご理解とご協力を賜りましてお礼を申し上げます。

さて11月10日に厚生労働省より、介護事業所の実態調査結果が公表されました。介護の現場においては人手不足が深刻な問題となっています。政府は介護保険サービスの介護報酬について来年度の改訂に引き上げる方針を掲げております。非常に厳しい状況である介護保険事業がありますが、高齢化率の高いまんのう町においては介護サービスを必要とする方は右肩上がりです。今後増加することも予想されております。本日は安定した介護サービスを供給するのに不可欠な介護保険料を中心に検討をして参りたいと思います。

3. 議事

(1) 第9期介護保険事業計画について

(コンサルより説明)

○ 長森委員長

何か質問等ありませんか。

○ 三浦委員

準備基金はどれくらいあるのか。

○ 事務局

約1億4千万円ほどの基金がありますが、予算が24億余りなので決して多いものではない。介護報酬の値上げがどのくらいあるか。低所得対策などで13段階別というのも国では検討されている。3年間は6,900円でいくつもり。基金を取り崩して対応しようと考えている。もしなくなれば国庫の借入れもやむを得ない。

○ 事務局（課長）

補足しますと、112ページの下の保険見込料6,900円のところ。現状の実績数値ではじき出された数値でいくと基金を1千450万円程度取り崩し、3年間で試算上は1億円程度残る。

但し、国から介護報酬の引き上げや、物価高騰による低所得者対策の話が出てくると、まんのう町は年金収入者が多いので、基準額の段階より所得の少ない方が多いと保険料が足りなくなってくるという恐れがある。

現段階で、それらの不安要素を予測し保険料を急激に上げるということではできないので、今回は7,000円を超えないぎりぎりのラインで算定しており、年間24億円規模の予算を組むにあたり状況の変化によっては基金を全て充てる、それでも足りない場合は次の計画策定まで一時的な借入れで補う可能性もあるという事です。

(2) その他
なし

4. 閉会